

公明党「マニフェスト2005」のミカタ

公明党のマニフェストは『政治とカネ』に一言もふれていない

国会で1億円ヤミ献金事件の証人喚問や迂回献金の禁止に応じようとせず、政治浄化を放棄した姿勢がますます明らかになった。

・「昨年公明党の主張通り、『負担』と『給付』の根本改革を実現し、100年先までの財政見通しを確立、これで年金制度の安心が確保されました」

全くのウソ！すでに年金財政の前提となる出生率や年金保険料の納付率が想定を下回ってきている。安心できる財政見通しがあるなら示してほしい。

・「イラクへの自衛隊派遣については、隊員の安全に万全の体制を確立する」と当然のことを言っているだけで、派遣期限の今年12月に撤退させるかどうか全くふれていない。

・そもそも、単独で政権をとれない公明党の『マニフェスト』にどんな意味があるのか。政権選択の選挙なのだから、自民との『連立政権マニフェスト』を有権者に示すべきだ。

(民主党政調)

自民党首脳 自公連立前の発言

「宗教が政治の中に入ってくるのはとても恐ろしい」

森 喜朗 幹事長(前首相) 93年8月28日(読売新聞)

「宗教は一人の教祖の考えを絶対視して行動するもので、本質的に議会制民主主義と相いれない。宗教団体が政治の中心に迫るのは許されない。」

加藤 紘一 政調会長 95年5月3日(朝日新聞など)

「公明党の選挙は、創価学会の施設をフル動員して活用しているという。組織が許可をし、組織の施設を使い、建物、電話、ファクス、コピーなどの膨大な経費について公明党は正当な対価を払っていない。」

口で政教分離を言いながら、まったく政教一体だ。」

野中 広務 氏 93年10月6日(朝日新聞)

「問題は、宗教団体が政治権力そのものを掌握しようとする場合で、こうしたケースは憲法に抵触するというのが我々の基本的な考え方だ。『宗教法人は政治権力そのものを求めてはならない』などの表現で政教分離の明確化を図る」

亀井 静香 氏 96年8月22日(読売新聞)

アクションレポートの最近の記事から



一億円ヤミ献金事件 村岡氏が民主集会で証言

池田衆議院議員は04年2月12日、テレビ中継が行われる中、年金に対する不信を解消するためには国民の納めた保険料が無駄づかいされている全体像を明らかにし、責任をはっきりさせることだと強調した。

そして、厚生省が厚生年金と国民年金の保険料を使って最近まで建設を進めてきた年金福祉施設は、265のうち77の施設が累積赤字を抱えており、これまで投入した1兆5697億円の施設整備費

池田議員 論戦に復帰

年金のムダづかい究明

兆5697億円の施設整備費は殆ど損失になる見込みであることを明らかにした。

また、グリーンピア(大規模年金保養基地)については売却が決まっているが、投げ売りしても売れず、合わせて3798億円の投入資金は殆ど回収できない見通しであることや、年金住宅融資についても官僚の天下りのための法人をつくった上、利子補給金がかさんだため9320億円の損失が見込まれていること

を示した。

一方、140兆円余りある年金積立金の運用で02年度末に累積でも6兆717億円の評価損を出していることや、運用成績は殆どの金融資産が最近市場の平均収益率を下回っていることを明らかにした。

池田議員は、国民の貴重な老後の資金である巨額の年金保険料が給付以外に使われ無駄づかいされているのをこのまま放置できないときびしく追及した。

日本歯科医師連盟が自民党旧橋本派幹部に一億円のヤミ献金を渡した事件では、金の受け渡しに同席した橋本龍太郎元首相ら三人の責任が追及されずに、同席もしていない村岡兼造元官房長官が政治資金規正法違反で起訴されるといふ不可解な事態となった。

そこで、池田議員は、民主党の国会対策委総括筆頭副委

員長として予算委員と村岡氏にはたらきかけ、村岡氏は04年11月17日民主党主催の「一億円献金事件の真相をたずぬ会」に出席した。

村岡氏は、集会で「会計報告について何ら相談を受ける立場になかった」と説明し、橋本元首相らの証人喚問の必要性がますます高くなった。